



## さいたまトリエンナーレ2016 最新情報のお知らせ

共につくる、参加する芸術祭「さいたまトリエンナーレ2016」は閉幕まで残り17日。

### Topics

- 1 : [松田正隆+遠藤幹大+三上亮、ゲストを招きトークイベントを開催](#)
- 2 : [JACSHA（日本相撲間芸術作曲家協議会）によるミニワークショップ&フォーラム シリーズ](#)
- 3 : [サポーター活動のいま、多様なサポーター活動がおもしろい！！](#)
- [その他お知らせ](#)

- 1 : **松田正隆+遠藤幹大+三上亮、ゲストを招きトークイベントを開催**



《家と出来事 1971-2006年の会話》 | 2016年 Photo: KITA Naoto

### 住宅を舞台にした、俳優不在の”演劇インスタレーション”

展示場所である「旧部長公舎」は国から県に出向する公務員のための居住施設。本作はかつてこの公舎に住んでいた住民へのインタビューをベースに、さまざまな家族の物語のコレクションとなっています。まるで今も人が住んでいるかのような展示空間の中で、想像と現実の「家族の風景」が、物音や声、コンピュータ制御されたテレビや家電、電灯などによって重層的に表現されています。大変好評なこの作品、満を持して作家3名によるトークイベントが開催されることになりました！



《家と出来事 1971-2006年の会話》 | 2016年 Photo: Koichiro Kutsuna, Arecibo

## トークイベント詳細

参加アーティストの松田正隆、遠藤幹大、三上亮とゲストとのトークイベントを開催します。

日時：12月3日（土）18:00－20:00 定員：30名（予約優先）  
会場：旧部長公舎 《家と出来事 1971-2006年の会話》展示内  
ゲスト：宇野邦一（仏文学者、哲学者）ほか  
※一般の方に先行してプレスの方にご案内しております  
なお、一般の方へのご案内は11月26日（土）頃を予定しています

## お申込み方法

- ① ご所属、お名前（ふりがな）、媒体名
  - ② メールアドレス、電話番号
  - ③ 参加人数
  - ④ カメラ撮影および映像撮影の有無
  - ⑤ 件名「《家と出来事》トーク申込み：プレス」
- ①～⑤明記のうえ、[event@saitamatriennale.jp](mailto:event@saitamatriennale.jp) までご連絡ください

さらに！！

**夜間特別オープンすることになりました！**

毎週金曜日のみ《家と出来事 1971-2006年の会話》の展示時間を延長しています！！  
陽が差し込む昼間とは異なり、夜は照明や物音がより際立ちます。夜の特別公開をぜひご覧ください。

延長時間：毎週金曜20:00まで延長（旧部長公舎の作品のうち、本作のみ特別延長しています）

## 《家と出来事 1971-2006年の会話》戯曲公開

本作の戯曲が[公式WEBサイト](#)でもご覧になれます。

■ 2 : JACSHA (日本相撲聞芸術作曲家協議会) によるミニワークショップ&フォーラム シリーズ



《JACSHA土俵祭りin岩槻》 | 2016年 Photo: Koichiro Kutsuna, Arecibo

**JACSHAのミニワークショップ&フォーラム シリーズ**

さいたまトリエンナーレ2016では、岩槻の伝統芸能「古式土俵入り」や、相撲をめぐるさまざまな音や仕草を学び、パフォーマンス「JACSHA土俵祭り」を創作したJACSHA。3名の作曲家、鶴見幸代、野村誠、縦山智子によるユニークな表現のベースにある「聞く」という行為や、JACSHAが魅せられた「相撲の謎」について、来場者と対話しながら、時に体を動かしながら迫る**30分1本勝負!**のワークショップ&フォーラムを行います。

これまで「相撲聞」に触れた方でも、初めて聞いた!という方でもどなたでも大歓迎です。気になったワークショップやフォーラムの時間に、直接会場にお越しください。

◆ 12月6日 (火)

- 1) 11:00-11:30 JACSHAフォーラム4 「テーマ: JACSHA式土俵入り」
- 2) 13:00-13:30 JACSHAワークショップA 「オリジナル土俵入りの動きを創ってみよう」
- 3) 14:00-14:30 JACSHAフォーラム5 「テーマ: JACSHA今後の展望」

◆ 12月11日 (日)

閉幕当日、何が起こるのか?! 決定次第公式WEBサイトで発表

会場: 旧民俗文化センター JACSHA展示室「相撲聞芸術研究室」(SHARS)

入場無料/事前申込み不要

イベントの詳細は[公式WEBサイト](#)をご覧ください

### ■ 3 : サポーター活動のいま、多様なサポーター活動がおもしろい！！



左上：チェ・ジョンファ作品制作のお手伝い  
左下：ダンカン・スピークマン作品リサーチ補助

右上：ワークショップ「ミニロータスをつくってみよう」  
のイベントサポート  
右下：ダニエル・グエティンとサポーターミーティング

### サポーターの多彩な活動

さいたまトリエンナーレ2016では様々な形で支援していただける方を、「サポーター」と呼んでいます。

サポーターの活動はさいたまトリエンナーレ2016開幕前からスタートしました。主な活動はアーティストの作品制作やリサーチの補助（開幕前のみ）、イベント運営や会場運営のサポートです。週1回開催するサポーターミーティングでは、アーティストやディレクターとの交流や、サポーター同士の繋がりを深めていきました。サポーター参加の理由は、アートが大好きだから、新しいことに挑戦してみたかった、地域に貢献したかったなど、さまざまです。参加者の年代をみると、サポーター登録者は20代が1番多くを占めていますが、熱心に活動してくれる年配のサポーターもあり、世代を超えた交流がもてるのもサポーター活動の魅力です。また、他地域で開催している芸術祭「あいちトリエンナーレ」「横浜トリエンナーレ」などのサポーターとの交流など、さいたま市にとどまらず「国際芸術祭」という共通点を通じてサポーター活動に関する意見交換も行っています。

## サポーターの成長

地道に活動をつづけてきたサポーターですが、スタート時の2月26日（金）に開催したサポーターミーティングでは、参加者はわずか8人でした。それが、現在ではサポーター登録者数はなんと957人。

（11月23日現在）

登録者の増加に伴い活動も活発になり、サポーター有志による自主企画「未来トークさいたま」や、アーティスト発信のプロジェクト「明後日新聞社」から派生した活動をするなど、能動的な活動もはじまっています。



オープニングセレモニーでテープカットに参加するサポーター代表



## 会場サポーター募集中

さいたまトリエンナーレの作品展示会場で、会場サポーターとして活躍してくれる人を募集しています。活動内容はアート作品の鑑賞のお手伝いや、来場者とのコミュニケーションをとることなどです。

ご希望の方はサポーター登録後に、会場サポーター説明会にぜひご参加ください。

特典として、特製サポーターバッグと缶バッジがもらえます。

### ◆会場サポーター説明会

日時：12月3日（土）11時～12時 場所：旧部長公舎内

※詳細は[ぼらたま](#)をご覧ください

## ■ その他お知らせ



### 「みんなのさいたまトリエンナーレ」

本日、満を持して、Tumblrページを開設！  
鑑賞者の皆様がさいたまトリエンナーレ2016をどのように楽しんでいるのか総括的にご覧いただける機能です。  
さいたまトリエンナーレ2016では、リブログのお礼として「ハートマーク」をつけるなど、オンライン上でも、鑑賞者の皆様とよりよい関係を築いていきます。  
→公式Tumblrページは[こちら](#)へ



### 多和田葉子さんがドイツでクライスト賞受賞

「さいたまトリエンナーレ2016」の参加作家、小説家の多和田葉子さんが、ドイツで最も権威のある文学賞のひとつ「クライスト賞」（1912年創設）を受賞しました。日本人の受賞は初めてであり、外国人の受賞も非常に難しく、今回で2度目となります。  
また、過去にノーベル文学賞を受賞した作家がいるため、ヨーロッパでは注目の賞です。賞の主催者団体によると「ユニークなドイツ語の使い方での新たな表現の可能性を示した」点で評価されたそうです。  
→詳細は[公式WEBサイト](#)へ



### 日比野克彦さんが別所沼公園で描いた作品を展示

さいたまトリエンナーレ2016アートプロジェクト、日比野克彦《種は船プロジェクト in さいたま》では、別所沼公園の沼に2艘の「種は船」を展示するとともに、公園内のヒアシンズハウスにて、昨年実施したイベントのドキュメント映像の上映を行っています。このたび、日比野克彦さんが別所沼公園で描いた新しい絵画作品2点の展示がヒアシンズハウス内にて始まりました。  
1点は屋内、1点はエントランス正面に飾っています。開室時間のみご覧いただけますので、是非お越しください。  
ヒアシンズハウス開室時間：水・土・日 10:00-15:00  
→詳細は[公式WEBサイト](#)へ



### スタンプラリーダブルチャンスの賞品決定！

さいたまトリエンナーレ2016スタンプラリーで、スタンプを10個全部集めた方に、ダブルチャンスとして抽選で、次の賞品をプレゼントします。ぜひダブルチャンスにもご参加ください！

- ① 浦和ロイヤルパインズホテル  
スイートルーム ペア宿泊券（一泊朝食付）
- ② 浦和ロイヤルパインズホテル内  
レストラン「RPR」ペアディナー券
- ③ 浦和のうなぎペア食事券  
※中村家（浦和区高砂3-2-12）のみ使用可
- ④ さいたま市産特別裁 かしひかり5kg
- ⑤ 梨カレーセット
- ⑥ 公式グッズコース（ママアンバック、ノート、ピンバッジ）
- ⑦ 公式カタログコース（公式カタログ、ピンバッジ）

→応募方法や賞品の詳細は [公式WEBサイト](#)へ

## 参加アーティスト一覧

秋山さやか (日本)	アイガルス・ビクシェ (ラトビア)	チェ・ジョンファ (韓国)
藤城光 (日本)	ダニエル・グェティン (スイス)	日比野克彦 (日本)
ホームベース・プロジェクト (NYC、ベルリン、エルサレム、さいたま) ※出身地ではなく開催地	磯辺行久 (日本)	日本相撲聞芸術作曲家協議会 JACSHA (鶴見幸代、野村誠、縦山智子) (日本)
川埜龍三 (日本)	オクイ・ララ (マレーシア)	ロングフィルム・シアター (日本)
アダム・マジヤール (ハンガリー)	松田正隆+遠藤幹大+三上亮 (日本)	目 (日本)
向井山朋子 (日本)	長島確+やじるしのチーム (日本)	新しい骨董 (山下陽光、下道基行、影山裕樹) (日本)
西尾美也 (日本)	野口里佳 (日本)	岡田利規 (日本)
大洲大作 (日本)	大友良英+Asian Music Network (日本)	小沢剛 (日本)
ウイスット・ポンニミット (タイ)	ソ・ミンジョン (韓国)	サイタマ・ミューズ・フォーラム SMF (Saitama Muse Forum) (日本)
ダンカン・スピークマン+ サラ・アンダーソン (イギリス)	鈴木桃子 (日本)	高田安規子+政子 (日本)
多和田葉子 (日本)	マテイ・アンドラシュ・ ヴォグリンチッチ (スロヴェニア)	アピチャップン・ ウィーラセタクン (タイ)
ユン・ハンソル (韓国)		

\* 10カ国より34アーティストが参加/48アートプロジェクトの展示

---

## 【さいたまトリエンナーレ2016開催概要】

---

テーマ「未来の発見！」

127万もの人々が生活するさいたま市に、世界に開かれた創造と交流の現場をつくりだそうとする国際芸術祭。テーマは「未来の発見！」。アートを鑑賞するだけでなく、共につくる、参加する芸術祭です。土地の歴史やまちの構造を想起させる、市内のさまざまな場所が会場となります。国内外のアーティストたちの多様で多彩な想像力に触発されて、私たちはさまざまな未来を夢見ていく。日本を代表する生活都市から生まれる、想像力の祭典をお楽しみください。

さいたまトリエンナーレ2016 ディレクター 芹沢高志

---

会期： 2016年9月24日（土）～12月11日（日）[79日間]  
※定休日=水曜（ただし11/23（水・祝）は開場、翌11/24（木）は休み）

主な開催エリア： 与野本町駅～大宮駅周辺  
武蔵浦和駅～中浦和駅周辺  
岩槻駅周辺

主催： さいたまトリエンナーレ実行委員会

ディレクター： 芹沢高志（P3 art and environment統括ディレクター）

---

各種記者発表資料は、  
さいたまトリエンナーレ2016公式WEBサイト内の  
「[プレス向け](#)」よりダウンロードいただけます。

---

■お問合せ先■

さいたまトリエンナーレ2016 広報担当（大久保・西山・河西・鈴木・森田）

〒330-0063 浦和区高砂2-8-9ナカギンザビル さいたまアートステーション

tel 048-711-8390（月～金11:00-18:00） / fax 048-824-5361

[press@saitamatriennale.jp](mailto:press@saitamatriennale.jp)